

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	西東京市立柳沢中学校
授業者	中島有紀

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

探究活動 無脊椎動物の体はどうなっているのか

#### 1-2. 学年

2年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

#### 1-4. 単元の概要

・これまでに学習してきた主にヒトなどの脊椎動物の体のつくりと、無脊椎動物の体のつくりを比べて、無脊椎動物の体のつくりを知り、またそこから無脊椎動物の体の働きを類推し、生きるための仕組みについて考える。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

・2年で学習する動物の体のつくりとはたらきで私たち哺乳類が属する脊椎動物のことを理解し、そのうえで、1年生で学習した「無脊椎動物」「動物の分類」を思い出し、共通するつくりや独特なつくりなど動物によって違うことを、解剖実習によって視覚的に理解する。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・実習技能を高める。
- ・実際に見ることによって、理科に関する興味関心を高める。
- ・同じ教室にいなくても、専門的なことを学ぶことができ、技能の向上がはかれる。
- ・必要な情報を必要な時に得られる能力、そのことを正しく伝える能力。

1-7. 単元の展開（全2時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	1年で学習した動物の分類、2年で学習した動物のからだのしくみについて復習する。さらに、能登里海研究所からいただいたイカの解剖写真の下敷きを見て、ヒトと共通するつくりを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して話を聞いているか。</li> <li>・イカのからだのつくりについて理解できているか。</li> </ul>
2	イカの体のつくりを観察し、解剖を行うことを通して、ヒトとイカの体のつくりの違いや共通点について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イカの生態やイカの解剖の仕方について能登里海研究所の浦田先生のオンライン授業で学ぶ。</li> <li>・生徒が浦田先生の話を中心して聞いていたか。</li> <li>・画面を見ながら、解剖をすることができたか。</li> <li>・生徒の興味・関心を引き出せたかどうかや、学習効果があったかどうかなどについて、アンケートをとって調査する。</li> <li>・外部連携＝能登里海研究所 浦田先生 明星大学 和田先生 / タブレット、プロジェクター、スクリーン</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

専門家による講義・実習により、より細かい知識を得て、いろいろな動物に興味を持たせる。  
解剖実習による、実技能力の習得。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
オンラインの確認  ●イカに関する講義 イカに関するクイズ イカの動画  ●イカの解剖 →道具の配布 →説明 →実習  ●片付け  ●まとめ	  ・画面に集中できているか。／先生の話を中心して聞いているか。  ・道具を取りに行く指示を出す。  ・説明をしっかり聞いているか。／画面に集中しているか。  ・画面を見ながら、解剖実習を行っているか。解剖図が書いてある下敷きを確認しながら作業できているか。／指示通りの順に作業ができているか。  ・指示通りに片付けができているか。  ・話を聞いているか。貴重な体験ができた感謝の気持ちを持っているか。

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・1時間目の授業ではうまく浦田先生と回線が繋がらなかった。2時間目の途中からつながることができ、実習しているようすをみてもらうことができた。最初にイカについて講義を聞くことができなかったので、後日まとめ授業をしていただいた。
- ・実習中は、大学生や地域の方のサポートをいただきながら、実施することができた。全員が解剖実習を楽しみにしていたわけではないが、たくさんの大人が周りにいてくれたことで、実習をすることができた生徒もいた。50分の授業の中で説明をして準備をして片付けをするのは難しいと改めて感じた。

### 4. 今後の課題

- ・解剖ばさみを今年補充したので、準備がしやすかった。
- ・実際に触ることに関して苦手意識を持っている生徒がいたので、この実習までに貴重な体験であることやこの実習を通してここまで学習した生物の単元の理解が深まることを伝えられたらもっと充実した時間になったと感じた。
- ・Google ミートで能登とつながり予定でしたが、うまくできなかった。12月に確認をしていたのだが、当日時間のロスがあった。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・今回は2年生を対象にした授業だったが、1年生で無脊椎動物の勉強をするので、1年生の方が知識を定着させるにはいいのかとも感じた。2年生では動物のからだのつくりについて学ぶので、解剖することによってそのつくりについて理解が深まるかとも思う。その学校の生徒の実態に合わせて学年は選択したほうがいいのかと考える。また、実施時期が今回は1月だったが、動物の勉強は1学期に終わっているのでは、間があいてしまう。学習をしてすぐに実習ができれば、理解も深まるのかと考える。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。